

(令和4年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：ホンダワラ等有用褐藻類の増養殖技術に関する調査

情報

養殖アカモクの収穫が始まりました

養殖アカモクの生産拡大に向け、当センターで生産した種苗を昨年10月から11月にかけて2地区の生産者に配付しました。

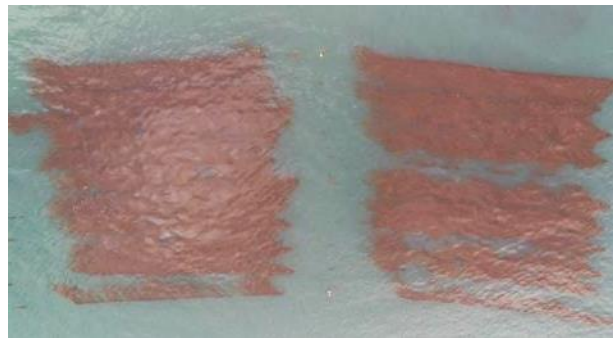
宮津市養老、舞鶴の両地区ともに生育は良好で、例年どおり2月初旬から収穫、出荷が開始されることになりました。1月時点の生育状況から、昨年と同程度の収穫量(15t)が見込まれています。

生産者、漁協では、他県産の天然ものに比べて、品質(堅さや粘り)が均一な養殖アカモクがまとまって供給できるという利点を柱にPRをしています。地元を中心とした府内での消費喚起を通じて需要と生産の拡大に繋げるため、当センターでも普及指導員とともに漁業者の取り組みを支援しています。

大型海藻の養殖は二酸化炭素の吸収源となることから、地球温暖化対策においても注目を集めています。養殖アカモクを地域の特産物に成長させるとともに、京都府内の温暖化対策の取り組みの一例となるよう、引き続き安定した種苗の供給と生産振興に取り組んでいきます。



本年1月に確認した養殖アカモクの状況



ドローンによる空撮：宮津市養老地区